

令和6年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

音 楽

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
17 教出	音楽 103・203・303・403・503・603
27 教芸	音楽 104・204・304・404・504・604

音 楽

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

17 教出 27 教芸

2 調査研究の観点

- (1) 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 実践的・体験的な学習を行うことができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 音楽の記号及び用語、図や写真、挿絵等が適切であり、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けやすいよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)
 - ① 各活動の楽曲数と我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽等が扱われている楽曲数
 - ② 「A表現」と「B鑑賞」が関連する編集上の工夫
- (2) 学習指導要領に関する事…………… 観点(1)
- (3) 実生活との関わり、興味・関心について…………… 観点(2)
- (4) 表記や表現、資料等に関する事…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 各活動の楽曲数と我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽等が扱われている楽曲数

○「A表現」及び「B鑑賞」

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A表現	歌唱	45	35	28	28	30	26	192
	器楽	16	15	24	18	12	13	98
	音楽づくり	8	8	7	6	4	3	36
B鑑賞	鑑賞	13	16	17	16	12	17	91

※活動内容によって「A表現」「B鑑賞」の両方に含んでいる場合あり

※巻頭、巻末の楽曲を含む

○我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽の曲数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
10	13	14	13	11	17	78

※我が国や郷土の音楽は、我が国のわらべ歌・民謡・古謡・長唄・雅楽・我が国の伝統楽器を使用した音楽、諸外国の音楽は、諸外国の遊び歌・民謡・民族音楽とする

(2) 「A表現」と「B鑑賞」が関連する編集上の工夫

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
「A表現」と「B鑑賞」	6	6	4	4	4	6	30
「A表現」のみ	3	2	3	4	4	2	18
「B鑑賞」のみ	0	1	2	1	1	1	6

※巻末の楽曲は含んでいない

2 学習指導要領に関すること

- 全学年の教科書の冒頭に、一年間の学習の見通しが「学習マップ」として見開きで示されている。
- 巻末に、各学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめた『「音楽のもと」まとめ』が示されている。
- 第2～6学年で、巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」として、知覚・感受に関わる言葉の例が示されている。
- 歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の内容を関連付けた題材が、全学年で設定されている。
- 題材のねらいに即した教材が系統的に配列されている。
- 〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として、ページ右上に示されている。
- その教材において新出した〔共通事項〕に示された音符、休符、記号や用語が、見開きの右ページに示されている。
- 教材ごとに学習目標が示され、それに迫るための具体的な学習活動が例示されている。

[調査票] 【17 教出】 (小学校 音楽)

- 鑑賞教材において、学年に応じて、知覚・感受したことを言葉で書き込める欄が設定されている。
- 鑑賞教材において、聴く際の道筋となる図形楽譜や、主な旋律、楽器による曲の進み方が示されている。
- 「Short Time Learning (英語の歌)」が、全学年で設定されており、外国語活動及び外国語科との関連が図られている。
- 体を動かしながら歌えるわらべうたや遊び歌、身体表現を伴う教材が設定されている。
- 全学年において、我が国や郷土の音楽や諸外国の音楽が示されている。
- 他教科等と関連する教材が示されている。

3 実生活との関わり、興味・関心について

- 生活の中の音や自然の音等、身の回りの音が教材として取り上げられている。
- 我が国や郷土の音楽への興味・関心を育てる教材が取り上げられている。
- 第4～6学年で、各分野の著名人から小学生へのメッセージが示されている。
- 第5・6学年で、「SDGs」に対応した教材に、17の目標のうち、関連する内容のロゴマークが示されている。
- タブレット端末の使い方や感染症対策など、学校の生活で気を付けることが示されている。
- 国歌「君が代」のページに、自国や他国の国歌が演奏される場面が、スポーツ大会の写真などで掲載されている。

4 表記や表現、資料等に関すること

- 全学年でA B判となっている。
- 全学年の表紙のイラストに、各学年で扱う内容が描かれている。
- 学習活動の見通しをもたせるキャラクターの言葉が示されている。
- 児童の体の動き、楽器演奏、歌詞の内容等が、イラストや写真で示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- 全学年に「にっぽんのうた みんなのうた」が設定されている。
- 我が国に伝わる風習や風景を紹介する写真やイラスト、文章が記されている。
- 第3～6学年では、歌詞の内容を表す写真が折込資料として掲載されている。
- 第1～3学年及び第5学年では、拍を示すマークが付けられている。
- 教材を演奏しながら確認できるよう、リコーダーの指づかいが折込ページに示されている。
- 学び方の例が「まなびナビ」マークで示されている。
- 既習事項や関連した教材や資料、発展的な内容を表すマークが示されている。
- 全学年にデジタルコンテンツにつながる二次元コードが掲載されており、音声や映像の内容が示されている。
- デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
14	17	24	22	22	16	115

1 概括的な調査研究

(1) 各活動の楽曲数と我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽等が扱われている楽曲数

○「A表現」及び「B鑑賞」

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A表現	歌唱	36	36	24	24	22	21	163
	器楽	16	15	28	17	11	8	95
	音楽づくり	8	8	4	4	2	2	28
B鑑賞	鑑賞	12	16	9	20	21	23	101

※活動内容によって「A表現」「B鑑賞」の両方に含んでいる場合あり

※巻頭、巻末の楽曲を含む

○我が国や郷土の音楽や諸外国の音楽の曲数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
9	16	8	13	17	14	77

※我が国や郷土の音楽は、我が国のわらべ歌・民謡・古謡・長唄・雅楽・我が国の伝統楽器を使用した音楽、諸外国の音楽は、諸外国の遊び歌・民謡・民族音楽とする

(2) 「A表現」と「B鑑賞」が関連する編集上の工夫

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
「A表現」と「B鑑賞」	9	8	5	6	4	4	36
「A表現」のみ	2	3	5	3	5	4	22
「B鑑賞」のみ	0	0	0	1	0	0	1

※巻末の楽曲は含んでいない

2 学習指導要領に関すること

- 全学年の教科書の冒頭に、一年間の学習の見通しが「学習マップ」として見開きで示されている。
- 巻末に、各学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめた「ふり返りのページ」が示されている。
- 各題材の最後のページに、その題材の学習内容のまとめが示されている。
- 歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の内容を関連付けた題材が、全学年で設定されている。
- 題材のねらいに即した教材が系統的に配列されている。
- 〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素がページ右下に示されている。
- その教材において新出した〔共通事項〕に示された音符、休符、記号や用語が「がくふマスター」として示されている。
- 教材ごとに学習目標が示され、それに迫るための具体的な学習活動が例示されている。

- 鑑賞教材において、学年に応じて、知覚・感受したことを言葉で書き込める欄が設定されている。
- 鑑賞教材において、聴く際の道筋となる図形楽譜や、主な旋律、楽器による曲の進み方が示されている。
- 「英語の歌」が、第3～6学年で設定されており、外国語活動及び外国語科との関連が図られている。
- 体を動かしながら歌えるわらべうたや遊び歌、身体表現を伴う教材が設定されている。
- 全学年において、我が国や郷土の音楽や諸外国の音楽が示されている。
- 他教科等と関連する教材が示されている。

3 実生活との関わり、興味・関心について

- 生活の中の音や自然の音等、身の回りの音が教材として取り上げられている。
- 我が国や郷土の音楽への興味・関心を高める教材が取り上げられている。
- 第3～6学年で、学習内容や音楽と社会との関わりについて、各分野のプロフェッショナルのインタビューやメッセージが紹介されている。
- 第6学年で、著作権や音楽活動が生活や社会でどのような役割を果たしているかについて考えるコラムが示されている。
- 郷土の祭りや芸能を紹介する際に、同世代の児童が参加している様子が写真で示されている。
- 国歌「君が代」のページに、自国や他国の国歌が演奏される場面が、スポーツ大会の写真などで掲載されている。

4 表記や表現、資料等に関すること

- 全学年でA B版となっている。
- 全学年の表紙のイラストに、各学年で扱う内容が描かれている。
- 学習活動の見通しをもたせるキャラクターの言葉が示されている。
- 児童の体の動き、楽器演奏、歌詞の内容等が、イラストや写真で示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 全学年に「歌いっごう 日本の歌」が設定されている。
- 我が国に伝わる風習や風景を紹介する写真やイラスト、文章が掲載されている。
- 全学年の裏表紙に、郷土芸能の写真が掲載されている。
- 全学年で、拍を示すマークが付けられている。
- 表現したり鑑賞したりする学習の参考となる、作曲家や演奏家のメッセージが記されている。
- 学び方や学習内容の例が「歌う」、「考える」などのアイコンと活動文で示されている。
- 既習事項や発展的な内容を表すマークが示されている。
- 全学年にデジタルコンテンツにつながる二次元コードが掲載されおり、音声や映像の内容が示されている。
- デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
30	34	34	36	35	32	201